

人とこるつたしと、人が説が 近の上にまて、下は 月尾真右上は 永宗島区かっと なった、「川の海はうねしい ものみなが好れ心にとけこん る、漸く声をなつかしむ頃に の香りもねつどりと眠にしみさつ、とはねるはしぶき、高

越路篇

潮

0)

上川近海賑ひはじむ

0000000

ついと言うて来るある、サー 施船、中は与薬島この船 た、アサリの子ちゃないのに の壁をあげると、皆んな、それ

上人を訪れる事も、国のゆるし

無ければできない。同門の友と

た。遠國へ流される迄のたとへ後一には沙汰が下らず、三月に入つた一 出来も機能されてある。 それでも不平はいへない形だつ も、からして、数と共に、子 今ではをかしくされ思いた。 「これが何の悲しみぞら と、過去數ヶ月の自分の派遣が 二月かー

と共に、起居がゆるされる事にな、の自つば、花の端が、雲みたいに、これらの腹筋に、腹骨がゆるされる事にな、の自つば、花の端が、雲みたいに、これらの腹筋は上流と共に、起居がゆるされる事になっの自つば、花の端が、雲みたいに、これらの腹筋は上流 都の杉並木の間には、もう彼定と 附分多い。 あた二人の配流の日は、その二月、 ならの国の海な人も りで、血事は勿論、

して配送が高く、局配が濁り砂販が硬化 部の神獣に故障が起つ

統組丸器の東るせ深中に消 (る十少蔵くし強が連結)

大小便の世話

理學博士完成の理學博士完成の

酒膳の肌度に服用すると思幹や二 の吸収減数を非常によくするので 惡醉・二日醉 本献土 酒

を服用して、早くを快を討られよ

生れ變らねは治らぬと

流めた中風がよくなつた

難成初の全津郷護理部

リキシン

「イマツ」 「山略) 小生音からで様丈夫にて「祖々と効果順はれ、親子を扱った「パッたり適」と 中裏に振って、一度の内に左半り、場に出るし、そのまず足も自由にほって、一度の内に左半り、第6年代を受分が薄らぎ、言葉もほからの響」とが不滅となり、実後、年前出と産 砂き、そでは人事を振りてに充分したでり、ことので 単せしが効果立く、単れ舞らおは、用を足す事が出来す。ことなき上よくするので 昭 治らりと 海のであました(中略)、1年にありません。屋は含くりキー保存証式が治 前熱性作者 (内) 中国に大学の大学とようなので、一定の方に大学り、大学の大学と振り、大学という。

は、供して異がゆるされたからで むしろ、その重異が決定したか 善信が時 輸へもどつて 来たの 母乳の香の庵(三) せて楽いてある顔のやらに、 と、宝ふだけであつた。 遊信は、河南も、吹く風にまか 村 耕 英 治作 花畵

は見あたらない。わが東の調なか 何の意識らしいものもその頃に

田され、その日の來る選は、鷗鯔」た。そして、法然のことはなる然「敬いみ・まり」、・他康・思切れ 本郷の張用により、今一世と云ふと、夢は「先づ、海崖明の門から」らさすがと 瀬縣は 思ふのであつ [敬いみ・まり]、・他康・思切れ 本郷の張用により、今一世と云ふ雄 後の嬪 超へ流 雅とさだまの。 日男まオリオン しゅうしょう ロビセ・目まご・耳鳴り・眼ごり 一日々々と全機に帰さます。雄 後の嬪 超へ流 雅とさだまの。 日男まオリオン 帯が悪しる器お、ヤン 中風に罹り、三年も五年も履たさる観兆で、夏に危険です。父既に た人が、四十割後か 險危上以歲十四 がでかっしい

展示が突点起し間でよくなつたと異ながらに影響 - 柳園・周切れ 本郷の渡耶により、今一歩と云ふ鳴り・麒ごり 二日々々と発供に襲きます。ら時々、頭頂 - 足のシビレ、早身不墜を治して、 してゐる人が随分多い。 又、治らぬと諦めてゐた中風が本 本別の服用により、今一歩と云ふ

常に翻導く性恋接へし人、純軽高性ない。関手の楽な元気を保つ く随温地・心臓療師の危険ある人 中風で駆動なく悩む人はリキシン

か多単に含む故、之等は同時に翻 て、性悪戦退を恢康し、精力を モン成分

作用のある上に、置重な

に用が無かつ 然に妨ぐ。又中風の舌モタレモ事 以上の際に本願は、強い能能解化

濁り血を淨化すれば治る

煋草、 腦溢血 心臓痲痺 花柳病が因

『龍邪のまへに――父この善官が、ナベて、崎崎の真臓へかよう道にす、たい、このうへの縁には、上人 道にも、柳葉ヶ崎から集ら道にも、 間のどれ屋な運動があつたが知一の爺は、一日々々、物量げに響 がつて、難つてみようと云つしいても、許されなかつた。やむた 玉日と男 丸の事について | 道のない計道から、背崎の松林の ほろいに、鳴されてしまつたる れるであらうかも知れない事を記 十六日と師の 悪 国から聞いたの 渡遊の目が、いよく、この三月の , 車輪を断っても、火地に手を 惜して、師にもゆるしをうけて、 く権行は日の辞れるのを待つて と、そこにある武士に、けん」 案のぜう、自河のはうから行く 兄の善信や、吉水の上人の配所 と、或は整間の役人に追い返さ 震害虫 士博學理國佛津令 明 發 中賞懸り當福

即所に下される前に――たつた。」は、座前が聞つてあつて、

多から聞いて、

と、安堵の美みを泛かべ、

出て来たのであつた

芸信は、励の法然上人の消息を

わしはもう嘆かれ

と出った。

日でもお目にか入ってゆきたい事。こなられーし

種間は、もつともであると語い

それも何とか、朝廷の人々に

所究硏學化津今 慧

高师停止の意下があつた後、三日

番僧の弟、称有である。

どころではない、善信の死刑は、一院を出て行つた。

待たずに行はれてゐたにもがひ

なかったなら、からいよ魔人があ

のである。あのよき明確が

てあた。

石い一人の信が急ぎ足に、

必須樂として萬全を期してゐます。相戀らす。 一般所は常に品質の向上に努力し、家庭衛生の性別的家庭害虫劑として、非常な賞識を博し世界的家庭害虫劑として、非常な賞識を博し世界の家庭害虫劑として、非常な賞識を博し 液体殺虫劑ではキャメ段違ひ! 今年もぜひ 兵隊さんもイマッ イシツ蝿取粉 イマツ鰻取粉 南空虫用(た煙) [有に店薬園全] 町本仁大・権政力 くなけわ 拿

を

その間紆餘曲折あるものと機関

LTと単されてみる意見のう て約三十萬個郡上したがなけ渡越、米文高省の國體明徴に騙する諸施いてみる、即も城革に封する襲 費用として十一年一般逐算におい、することになったがこの高速は将ての開討経維折あるものと強励 異導及の實現をはかるべくこれが 木園艦の本経に隠する諸姫に殺する諸姫

製料互援助温定市に對する第一次

作興國船明徴の鉱底日本指神の振|準若くは示院ともなるべき我が日

り十分機能の上將來國證明徵の基

國民政府の第二次抗議分を

豫備金より支出

での礼義が生してをり場合によつ。といふにあり大宮近である観覚節。めて正月されてある。 の如きは早くも短崎部派と継崎部。めて正月されてある。 といふにあり大宮近である観覚節。めて正月されてある。 の近回に遠域するとの繋が底。 んになり、これがため媒内を施氏。 の近回に遠域するとの繋が底。

ではのが、一面緊害の作うこと - 本職職を実際として釜を搬大せん」の通道に適感する感覚を職立し歯気のが一面緊害の作うことも - 部に現族維持派の對立は今回の版。としては自主的立場において時代をことである - では衝撃にまりを許解院を通じて配革証。 れを支持してゐるとはいへ最立就一部の翻進の如うは何等の - 然にありを許解院を通じて配革証。 れを支持してゐるとはいへ最立就一部の翻進の如うは何等の

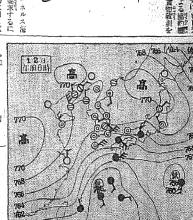
れを支持してあるとはいへ最近数。等の問題が暴けられてあるなほ右 育でも米幽肥料等の統論関係が紛、府は五月十二日開賣の職監判事務職する重要案件であり殊にこの額 【ゼネヴァ十二日周盟】トルコ改 制問題は來る特別報曹越策とも開

項目を認めることになったが目下 八體來る特別疑問までに具體的

ては委員を質勵し各方面の實備を も参酌して信意に調査立案せらめ

要の影響に對しては好談的支持をはトルコ取所の海峡非記度使項を 佛政府も支持

駆へる 計画明した、右は ヒトラ



計判の美味

▲出張調理モ致シマス

作出型人番

きょう

親

料北 理京

京城府敦義町 切叮嚀

<u>pq</u>

店にあり

全般天氣豫報

U H

スリハ

全剛

會強**山岸天佑**学

するローザンヌ傾約第四條以下水

「ロンドン十一日間題」 イギリス

内断その他教育参考最で使節製剤 としなった、出品作物は児童作としなった、出品作物は児童の場合の場合の場合の

十二日朝の概况

契約金を詐取

の規類が建物的社長だから安く宣 つてやるとだまし、別称第月五十回

手先はキチ

少女親士を申心に解長雄之内氏統裁して信例の野外親道大震が暗若さ期ゆる十二日日賦の午刊十時から號忠遠で京城武護館の少年

※に爬げられた川 海蛇、平年より、同じくして半島を選した、だが膳 蓄も健動機めて不 等々巻の花は時を

京城の花信は今月 の装ひに包んでし

絢爛たる玉彩の花

ンの豪華観光船レライアンス號に乗り込んだ判米各國のフーリス

「日午即九時五十五分良城者」築和五鵬巡結の臨時別県でまだる。

と照暖回をばらまきカメラの練列を有いて一層にパチノー機關銃

勝朝鮮神宮大前四場で銀行された、築る清朝韓三百郎名、それに

國防化學協會發會

枝朝鮮車參辯長、西島本府、天岸道、裴野府各席生源長、軍勵

際の式解あり、何れも問協會の設立は非常時日本の現在まことに

おし楽しい、スイスのやうだ。

深は相當大さい、

開花のダイヤ狂ふ

櫻美伽を揃き、来資、所製館購入粒二千人が二班に分れ、みな望し公職内で懸行された、商尹さんも馴れぬ手に縁をとつてモミ、山 體造が押かけ機擬職、馬服法、娼賃など策國色を盛つた能興に大から第十七回開立記念祭を整行した、花に恵まれぬ家族連れの観 個例の意域仮記含価菌は狭時に邀まれた十二日午期十時から幸昌 短月、氷野海相、日本國防化型協商その他金館各地の製物師商か **聯盟理事會に對し** 全は萬様を三腑して同三十分除式、後・師記 源では小園民による日支銀造を圖 十名の場所銀湾場前を交更書の「長崎電路」長崎勝及長崎市県初 と浜に、日支双方より小媛生校」 映非武炭係項の艦班を要求するに 日支學童親善 日聯盟基が局に對し次 知人が深を求めてふるを知り自分

製が

一夜京域の銀分を味ひたいがホテルが小さいのが発念だり 水池城時列車で仁川に膨舶 は一次である。一次では、相管に「城市の組をほころばせ平後四時 は、日本では、一次である。

イヤ人り常止めを人間せんとす」と、誰び個人が人質しては厳趣を 日朝京城釧路栗貫原へ上入金。出させ帰根がリレー式に履行

コバルトの空を仰いで

颯爽ご行く

われらが銅鐵車く

観光船ブ號橫濱 海唱 (東) 三浦

これこそ

無故障·無修繕

比類なき耐久力を誇る 實用時代の標準車ノ

「横遊蔵話」四萬二十五百トン

りにカルピス!愛見の警養にカルピス 部覆版揭工車轉自口山 可馬德小德本日・東東



新語「マア鈍酸ねエ。カルビスがさても、 ハズ「アツさうか!ベビーが出來たのか。 店業・店舗・店品料金・店駅画 所数数

ベメ「こないだ買った着物かい?」 新奏「うゝん、アノネ、出來たの」

飲みたくなつたのよす

新疆「ねえ貴方、素敵なニーース」」

ハズ「何か拾つたの?」

策委員會活動 民政黨基本國

れたる解釋に對してはこれをも調印に關する各項目につき下さずエート政府は今次羆家譲足害

目ぼしいものを

上できな申込み下さい。 上げます。新聞名御記人の 上げます。新聞名御記人の 上げます。新聞名御記人の

マルワイ経済草 フレス号 マルワイ号

科學捜査のお手柄

撃つた狐が名主

気送のお供を致します。

萱野三平 2

悟道琴圓玉家

(113)

の男が態度をかへ「けふお削は辿」に示すと、なんと思いたとに金のとなって呆然としてゐる呂にさき、英を持つて金哉淑方の近所の人々 |関単に跳つて來たといふのだ、端| た、宋の自供により共祝として明 と脅かしたので居は泣きながら風、隣家に踏みこみ跳腰中の宋を加 と賭博野で警察にぶちこまれる』とソックリ、そこで八日の末期、 がないのだ、然しこれを口外する一家の隣家に居住してゐる男の人母 つて一、二回は儲けたが、それ以 手口といひ、服難鏡に映じた末道 てあた七百五十圓はスツカラカン「指名手配」、更に刑事隊は同人の寫 後全然駄目、その夜の中に所待し「元こそ主犯に遠ひなしとて各勢に 詐以

諸博で

・ 手の操縦するトラックの連続合節 松の宝さから

南無二

…さて脱ひを過つて

七郎左衛門、愕然として、

五日早朝金屯粮の自宅を遡った一名を機嫌した、耐人等の自白に避をつかむため活動を殴行、去る。「賦務常山町六六三林守坦です外 緒をつかんだ阿那耶部長は更に龍一城北本町八一三町科一犯妻好男 真淑一人だ けであつた 飛動所で知りあひ、出所後要は何 六騈縣川側軍門と物つた 三週間の製品を買び配山衛戍病院 られて背景左脇下に長さ五寸全治 ハンドルに軍服を引かけられ引つ に敗容手當中である軍人は野伽甘

案内台への御厄介

入城三道旅前、廿一日领新義州名屋附鄉新後廿日午期七時廿五

自働式事故しらべ

世 (世) 當局でも目下その緩和策般勢中で「會社斯井甕房火畳 辿吉氏外十五名借款の源距を応してあるので顕信 ★(社)見要 (十)日) 株式 國際本管に 意見上申

| 随應に 闘する 大僧を 朗伽、代表」を行つたが総配した、水應器では| は十一日年後等新世界資本で出る」を行つたが総配した、水應器では| なる蝋起質にすぎず國際数世境本|嚴重な取調べを辿めてゐる 以下よりなる日本設世軍軍事機器 / ケをフールスピードで巡ບ、均狭 『お話が付きましたか』 (東京舞話) 日本教世軍の下土皇 | 殿(こ)はそれと知りながらトラフ | と唸りながら微かに服を が九日総表した首願都の無窓は職「通事故と認めす、計法事報として「通行とも依じませんで意外だ崛態」「『言し」」と、と、と、「報じする数数斡旋の結果日本本意」この能感態職事の行為を職なる姿」『左続で、ごいます。 名上端の側』やお憩さんに早くお知らせ申して 日午後受製地車南部で改革「は原節を切飾され水服病院で手営」『オトお明さんは七四左衛門どん 救世軍々事聯盟から

光化門交換局

本局が自働の爲め

反つてはかどらず

□ 光北門周の電話交換がいまどると 自働変換になつて以来は本局への 電子 たせるならないですが多い、五分を帯 交換は一々交換螺がダイヤルを掘ったと一般加入者の不平が多い、五分を帯 交換は一々交換螺がダイヤルを掘った たせっないらないで行つた方が早い、さればならぬので、とても時間が に日 たせっないらないですかあい。そ かかる。それに加へて本局加入者の不平があい。そ かかる。それに加へて本局加入者のエートのの風を剥っててようと交換手に消 の中にはまだなれたい人があると 観客は は百六十名であるが一日の呼吸本 すに に日本教世軍の歌革遊鐘に追迎す。 時四十分暗層児蓋理器の生利雑氏。した鑑醒に附中で死れといふのる事を申合せた漫館児職その他全 既より出た記述のため消光室の知る、前の世からの教験事だらう、観音地からの歌劇電影を順襲した。つた護東端所の歌劇歌の早く防立にあ。 使して観ぎ ぬ、俺 はも 5 助からの歌りをもつて総紅瀬田田の歌一 正在総紅田中の称一千七百扇棚の つて行つておくれ」 に変地に明水して光のといるのの歌りをもつて総紅瀬田田の歌一 中四十分暗層児蓋理器の生利雑氏。した鑑醒に附中で不死れといるのと明本が、

十名の力ではたらない、一生智能一先三等道路の一間道路)で同地金島 十一日午後等時廿分頃水間部山里

局原内加入者からだけでもザット

光化門加入 目約四千二百、局重鑑を間違はれ

ダイヤルを 難す人が一

る方が約二千ときてはとても百六

即九時半離く歐火した、附近は日郎、附近の家原六十島戸を観光し 進げ遅れた消防手その他百能

見った。よき極切と一番射つた鍵間が一くの

過失とは言ひながら、難方のお命

がまはる!

とへば本局八五〇香を二――八 「滑みませんでした」とか「関連とれば、全報を知らずに超す はふもので狭に彼中などしやくに五干度、至春観を知らずに超す はふものです、道徳上からでもたのも赤銭や氏名の問意戦を さばるものです、道徳上からでも はいるものです、道徳上からでも はいるものです。道徳上からに臨情を とればいるのが卅一度 近でまだ知らない方が一千五百 | しませら 近でまだ知らない方が一千五百 | しませら

にするのが卅一度

見ますと本局案内盤の受付は一

尿城中央電話本局が自動式交子質 まだその使用方法を問題はれる方

なかには隨分と失禮なのが

ボンペイ最後の日

大のスペクタタルトーキ

腹より背に掛けて無髪にも敷ち良。定右衛門は、ウムと一聲、前へ作

京城劇場

モシ定右面門殿、お河を鯉に持つ一け、山を下り芥川村へ来たが、秦 | 豪聖をモシ定右面門殿、お河を鯉に持つ一け、山を下り芥川村へ来たが、秦 | 豪聖を

京家 天勝大一座

と唸りながら微かに服を開いた。

数種 3、春のヒバリ物ぢや二景

飲め!そし

を戦しました。なんともお前ひの

いお妻……」なんと言ふ出まし しいことを致しました。際ない御『お父さま、何樹が所ら言ふ響感 若草映画劇場

身につけよ

てこの力を

電水基 医四周

演藝等内

地雷火起管

ング博士問題のスキー映画器山の騎士

人の玄

開始國內加

十十日より党ペ超特別興行
・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力下左
・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力下左
・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力下左
・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力形と
・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力・ 「大山内の力が大力勝」月がの大力・ 「地田のおいて、 「大山内の力が大力・ 「地田のおいて、 「大山内の力が大力を 「大山内の 「大山 丽上

四月九日封辺(五日間) 日本日三回午町十時五〇分、午後一時半、大時半

②内 辦里路優秀各班 国大阪商品 新造船 浩 洛 東 東 丸丸丸 就 就

たしあがまうら語言
・ でかいる
・ でかいる
・ でかいる
・ でかいる
・ でかいる
・ でかいる
・ でから
・ でがら
・ でがら たしあげは決う 5 熱吉 こそがいる。らず ことりかび最 5 け 河林 まるかるん。 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

案内所 返山三中地・安東大神経 大阪商船供式會社京城 出張所京城 出張所屬書書。 2011年 - 2011年

会社

服

かそられ

通行の人を駆つたか、これは一大一つての通りな際に娘が一人ある、 んと前で 修ぶ歌生るものでもな 国作 オールトーキー んと前で 修ぶ歌生るものでもな 国作 実田 の 無 100 人と前で 修ぶ歌生るものでもな 国作 オールトーキー は 100 と 10 お削さんが組配とは含ひながら、 **灣語** 元 袁 舘 スト・コイル、スモール・ミラリモア主演、ジョン・アーサー との とりス、ライオネル・脚門

七郎左衛門は、なんと答べる言 型頭配、小笠原章二郎、小林--柜光子、田村邦男、突貫小僧、 殿られた河内山 右大衛門宇宙·尾上吸五郎特

の性白

元に、変せし距喩あらずや 電社のはない。 で名乗りあへぬ良れ には、変せし距喩あらずや で名乗りあへぬ良れ のでは、変せし距喩あらずや には、変せし距喩あらずや のでは、変せし距喩あらずや のでは、変せし距喩あらずや のでは、変せし距喩あらずや

は、日本が大学では、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、日本が大学で、一次観音開大美行・オールーのでは、日本が大学で、一次観音開大美行・オールーのでは、日本が大学で、一本のでは、日本ので

これらが本の のもの一数 カルシウム 士博學醫 十五 咸權諸の界醫



酒萄葡る賜を状獎推御りよ

門と書ふ者。年は四十三にて憐添 はつて遭つて下さい。それを頼ん見ると、之は芥川の名主で存在版 の二人の面倒を見て、観身所探動 い所物の宜しい名主、年書、七郎一で野けばもう元分、俺は返すん

はつて造つて下さい。それを頼ん

と観音つてその男を抱き起して

力!を豊富

夏俶方に伴つて来た、こゝに三人 | 果、三日目の七日に建された指紋 | になつたので、宋のすゝめるまゝ

博をしたといる思ろしさから最初 はなにごともいはなかつたが途に

ところ同家に居るのは

四四五九二六四四五九二六 ス

= _

逐 菜 丸 四月十四日 福 郡 丸 四月十四日 福 郡 丸 四月十二日 福 郡 丸 四月十八日

金山商船組 田組

で大型船便多数あり **向**些三百.0%

金炳郁方で既打致死した上別記場時ごろその被害者四人は金質値を 散したのが襲撃、去る四日午後十 振遠(元)から資金二百個を詐欺消害外間里関型右(三)金振成(w)金

三十日記川郡北二

最揃った。予紙幣は置を口質に金炳

「平理」所続合南年財政調式は

發會式舉行

青年團

若者陽氣に狂つて

一作年の六月デンマークが一書成をなすすう十日限度は要を超ったる

日牡丹家公庫公設グラウンドで

前夜の飲酒で發作的に逆上

人態腰頭("な)に協衆を加へ大脳動」ものである

沙里院早朝の慘劇

被のために二人、忍みのみ四人殺された者を原因別に見れば▲ 登びが繋ぐ勿れニイー人もある一人、 類情様近七人で過失~人一人、 類情様近七人で過失~人一人、 類情が近七人で過失~人 、 異解 行一人、 類情が近上人で過失~人 、 暴 被のために二人、 烈 条 のみ四人

世室四、五千回の見込み

統營の怪盗

と内部されてゐる

同女二十二人、外國人男

の方にお居してある自称が生命

を脳板すると共に探査した結果、るのを観覚、所轄級監督では、盟

海州」去る十日被除江上流藩畑

ソバ畑の怪死體事件

郡守と縦山内跡主田は脚匹鮮決一脚を縄取して来たところ過酸田

りに歌謝してゐる

子今まで双方大張の反目

隔した男を

つて天地もくだけよと風蔵を三唱

外國船入港

あるので平穏では

心臓の最も危険 な箇所に特に配置してある春歳人

惡童の仕⁴ ₩

の強弱は奥にこれに推出をかけて の他の事成を観聴してある。 (平郷) 弊永卿に入り資電線の位置に銀と最近 四に近くこれがため頭脇の不過それがため頭脇の不過それがない。 など昨年中の景域は刺像百

らかに巻室に響かせて進み、八千

殺して遺棄

一部のを掛け、その問題代郡守 上流地域にまで水馬が際し

経問題は窓上解決の曙光を見るに なく都下の態民は那萬局の善政振 至ったが上流地域ははいふまでも ととなり、ここに二十歳年来の事 **定州**] 大正六年株式館此端部階 のため自ら態んで挑戦の低に當り

度々交渉を重ねた結果、謄塩調は

遠に一萬間の經費を投じ今年中に

完全なる水門八ヶ所を設置するこ

発展事局等りとなった、網展署は一動せしめてある

形の再指令 危険な滞消線切取箇所 崩壊見張りを督勵

四十日を辞て新く異調終了も十、 間にれたものであるが終其的の支がて驅席書が楽調べ中であつたが、で公野瀬行朔黒脈に出観出鑑反に

日午前一津書館と共に大邱地方法 ほ子影響は大きく世間の耳目を議

意氣地なし

自殺を闘る

一日保護者を呼び出し

調査組事件は展報の知く大邱客に

田島定州郡守らの骨折で

水災部落民ら狂喜

たく手打ち

命線擁護の

て十日午前十一時を前後に市内。

る二月二十二日の断水彩並以来質

回答局の舞師の努力が繋動」流れて市団達は歌歌を原げた。去これが出た―上水道が通水。各所の地形性から外し振りに水が

なほどでは引動さい用数の必要によれているが完成さでには引き をいであるが完成さでには引き 水 帰日がかいるので取り取す無日 、 后に通知を出し(単名手段を続し) 甲 せてるる

五旬ぶりに通水

通水式場の劇的シーン

三部は断水を置けてゐるが一個日

會寧邑民歡聲舉ぐ

満警備の 一元化

鴨江挾んで徹底的工作を

氏間から切に

中のところ成上石事質明日となり 營支融令衆機事の手元で被重取調 事件は避罪の通り釜山地方法院

清津商議會

對局者の言葉

統言] 都長木面長金元龍 苦記爾武洪外一名に動する

起訴さる

繋で南國の一大經濟動脈として全一するにおいては人命保護は勿論、

後や船舶の大被害を揺くのみなら

備の一元化で、これによつて削録

一貫して流れる伏線は質に野山蟹

よつて蹂躙されんとするの情機に、で時節機嫌めて重大部されてゐる

を奥へんとしつ、あるが、鮮粛を「た、即も今日の如く戦線行を脱器」ひ意をの最楽が出されてゐるが、「等も引航き本月中に人志することを上申し國廣繁佛上に制期的革新「航海後還の貫徹を聖堂するに至っ」話による鮮丽南繁紫裳の連絡とい ノルトフワレル戦(ワッサルト) **總管府と議派總督局海に蜀と舩底「战聚崩進路の新設と」と、繁備電「インキスキア號(トレーフス)、総蔵である麒麟正の卒和代に就て「國境餐舗の鎌元といむ、瀛洲側江「十三日アルダー號が入港する宮では南國の影響の賦であり我等の生」であり、その手覧方法については「ト放大豆玉干四百座積取りのためは南國の影響の賦であり我等の生」であり、その手覧方法については「ト放大豆玉干四百座積取りのため** にの正常が戦に生命する民間有志。が巻き思されたのは今回が初めて、越を厳出してあるが魏にカフャル。『日本八国で三十人を目標に寛楽は、は関東の連続が戦に生命する民間有志。が巻き思されたのは今回が初めて、越を厳出してあるが魏にカフャル。『日及び武師界段順王振の下に勝いたの武師武城に生命する民間有志。が巻き思されたのは今回が初めて、越を厳出してあるが魏にカフャル。『日本代史』の「大学に関する民間であり、「大学に関する民間であり、「大学に関する民間であり、「大学に関する民間であり、「大学に関する民間であ 十三日アルダー號が入港する話ですること、議論の意思を取取につい

る木林葉書、迎修、交通業書をはし民間関から具體的な要認の呼び、も入港、住に三東三子九自九一四

してリナレの大河によって生活す。ものである、関係江本和運動に製。以来三月末までに外國合船が五歩。 にアリナレの大河によって生活す。ものである、関係江本和運動に製。以来三月末までに外國合船が五歩。 **第に渓御崎市の脳際にある鮮瀬連 常而してゐるのでこの墓庫常局寄一鉛マラヤ號によつて頗る好成態に**

の積極的平和工作を求めんとする

歐洲間大豆の韓出しが行はれた、

帝観光層は清津観光幽智、ビニー 時より後の官を明龍日藩産業伊護

正すること等を要認することした 下級無別を從過税より從問税の て震災胎加税の順職、

徐は前性ソーダを多量に城下

帰軍職をつせけ同日午後二時半頃、おた湯冷温泉駐在所首艦隻部補は

- 目にかけて大も船は四天。時で連穂に苦しんでゐるのを見策 | なつたが影響会は、萬四千個を投

れ感急手贯を加へた結果、生命に一葉十一日も記域江まで江西里から

當局の怠慢に

公務執行妨害出版法違反で

十三名(南州東)局送り

以來泥跡化し定路脈合自動

白川] 阴城日川温泉間二等道路

自ら些路修理

とに非難の繋が高い

借物集めて 先生ら汗ダク

校舍から机まで

馬中の應急處置

李相端』『『変用産組理事備要斗 れた職肆犯人については平組理事金護剛(『『加城産組理事 韓のため脱離し危く顛散を

酸校舎の害迪恩校分数場は薄聚で てあるが五く飜戦、縁躬、眩 伽頭の朝く十一日難行されたが、 右世阜々で記聴備工作に信数 「馬山」新設馬山中型投入原式は一で、新建坂田校長を初め各数数

から子和を起し遠に九日一一時信人れ間に合はせてある始末 **、子もでり世後、を近りついもなく難く時内含葉皮より占物を「に酸添漉含に収容し含硫代理本明、子目果の鷹、徐任」はあるが乱、荷子共悲同等の歌編。等を観定する漢で解外生徒の**

過失や人違ひが

殺された者三十一 自殺では家庭不和が最多

繰綿工場全燒 咸南の昨年中異常死統計 沙里院朝火事 出により総会者では犯人散採中間入りの金軍を値つ機つて逃走

統の層膜から膨火したものらしく 翻式出氏經營領都工程から出火し 解く間に同て基を全域、殿域は機 **児里自貫通り無端的社の実際形刻です豊院」十二日午前七時半ごろ** 新社會主事 元面長の背任

は、 (二山) 既教、 参山の行政島政博 、 (二山) 既教、 参山の行政島政博 、 (三山) 既教、 参山の行政島政博 、 (三山) 既教、 参山の行政島政博 、 (三山) 既教、 (三山) 所願版となつたので居では十一日 が開版となったので居では十一日







るくつを品能化な的表代





































































制限時間各八時間)

治

の用

めた者

呈進景粗くなれも―に毎げ上買お園一品粧化堂生資中間期

(白) 二八で左上脚をシャつて 二のトピがやつて来るのです (黒) 二七を『り掛』又は『り と白二〇黒『れ五』白『七六』 黒以下二六までは定石です (黒) 二九で『れ四』にかゝる 一心と言えまれるのは必定ですにも受けられません、受けると言 では、「一」のいろ(への扱いが出てき、「一」でいる。 「でいると無」の上級「一」の扱いがおきびしくなる いは必定です。 現在です で行ると無いる。

(する上に Tは十七」の三々に打 に示される 〇日一大で Pに十二」に受けるの を得たか、以 〇日二大で Pに十二」に受けるの を得たか、以 〇日二人で Pに十二」に受けるの を得たか、以 の「ユニニの財

上りまざるでせら

しておく方が、一手でシマらせるかく出るを侵して自己〇と交換

する・二七の食りが却つて好化

に本秋までに建築する健定である

入學式學行

漁鐵 東亞經濟調查局編纂 電光顯

工意博士永井彰一郎著 珪

酸鹽工

四四百億四・五〇

||七〇世 價二・五〇

電源

玉牌主友 田 宜 孝著

化

學

越學

一次の質質三・八〇

無

機

化學工

價三·二〇

南市上厚木 勝基著

繊維素化學工業

専門十大家共編 斯界最高の機威群書

新學年短期特賣

山本直交編

五七〇頁 定個二國 開散三萬餘 總革裝

內容見本送呈

麦皮革羊總執青旗 分二寸三极分五寸四統 德型

丙吉

平郎門

本見容內

复版库 獎施异 万會出

里斯 版刊

にて無代選星

露落慣用句二000

發費してゐます 定他各書店にて で被大阪屋號書

振替東京四六〇七四

日本工藝沿草史

緣

縮冊版習特價七·五〇

原型版際特價

尿社和佛鲜典

特價三·三〇

廿送

、山順太郎編 唯一の本格的和佛鮮典

山本站

他著

火薬・花火及マッチ

めてゐる。 お古代不順則ドてその行文は流暢を極 で内存順則ドてその行文は流暢を極 で内存順則ドでその行文は流暢を極

買用金 屬材

最新刊 ● 無新刊 ● 無新刊

▼目式穴要—

特殊的・建築・銅及銀合金・ニッケル合金・製金額金圏材料の性質・金屬材料の健理及影響・炭素網・

金屬材料の通性・金鵬及合金の組織・

特價七・五〇

經

期著

授教助學大國帝州九

特價一圓八〇錢 F台河駅田静市京東 石橋正樹著

中西 健 治

趣父江 览奏

ē

學

I

業

用

爐

品品

アスファル 子及其 7 及 及 加 工法

各州菊判八〇円より一二〇 薬品の成分。 各册七十錢、證酬金 適應 症

前陸軍士官學校教授

▲四六判總布裝·五一八頁價三圓·造門

で説明し調網大座、而易

用

西川五明 二圓下の錢

ヲ 将 オ オ テ ,12 **否二一**大京果香也

堂松三邑松

日本武士 の一部先生

¥ 3,80

香〇六九四京東衛振

明假名遺法解說 筑木 備の常識

句讀法解說

會編

香四二五六二京東營振

先

日本はどうなる? 高橋廣治先生著 ロシヤは日本を見る疑問 その趣味

稻造 四六版美本

新聞

町業有區町製市京番-三〇〇六京東番 社 版 出 ス ム イ

33

ņ 糅

Žī.

社報新氣電



脚気に對するオリザニンの治效の、頗る顯著的確なるは、多數實驗報告の立證す るところなり。これオリサニンは脚氣に對し原因療法剤たるを以てなり……

オリザニンは、世界に於けるビタミンBの蛤組たる榮譽を有し、毎製品動物試験 により效力を準定せられあるを以て、常に安んじて使用し得る優秀なる製品なり 故にビタミンBの缺乏によって惹起せらる、各種の障碍例へば前述の脚氣は勿論 食慾障碍、多發性神經炎、授乳期弱視、人乳中毒症、自家中毒症等には勿論、之 が消費を高からしむる諸種疾患例へば肺結核、肋膜炎、姙娠・産褥・授乳時並に 各種傳染病反熱性疾患時に賞用を見る外、スポーツマンに對しその心臓力を保持 し、疲勞の恢復を早からしむる目的等に推奨を見る ……

末、錠、液、エキス、注射液 十倍强力オリザエン注射波各種

原蓟三共株式盲盾

る十日區田首相の軍司令官、配願及后待午餐會の殿首相官邸にて謎覧り 景は神石から東久邇宮殿下、開院多謀總長宮殿下

朝香宮殿下

左隔は脳田首相(去

幣頭に行之區田首相<u>施或方針草案</u>

職を終った上、各限派とも

取出せんとし世族院方面において。 年三なしてある講である。 一般説が認時に如何なる態度を心す。 一般説が認時に如何なる態度を心す。 一般説が認時に如何なる態度を心す。 一般説が認時に如何なる態度を心す

てゐる向きが多く一般的に好感を

の方針に明確なる具般落なし

時局克服に別する欧州一八、公復消化力の限

可避のものとし問題決定に常つて一数自治言理法案の如きは政民とも

門郷を練り戦所は戦多の艦騎に速か発く関原を許され所で鮮卵延長

彫を出で原宿の自取に入り 1 説間

前十一時廿分自動中で三年町の官 【悪気電話】原田首相は十二日午

央企展出発を始め自動車工業法 ので果して政府の意識する如き形式 は、中小路工業別策の路工中 を修き起すことを驚破されてあるは既私別館の米哉、肥料の重更 を修き起すことを驚破されてあるは既私別館の意同を経合すれ 高市商人の利密制立を展映して共のである。

断を終つた上、各層語とも一致日の定例隔離で既初官の服役的

度に出た結果、今期三個個の機能 の対象の診察提出の態。 の対象の影響提出の態。

龍哲契数を開らんとしてゐること

を密議院に先づ護婆さるべく後の ので三個間の食用中一部間が無い 所には常様用面が良いられた上は業態度 が不限間でこれら重要法案、後 原来を独合みに上たい限り後肢 原来を独合みに上たい限り後肢 原来を独合なによっので政府が減 では、では、大いので政府が減 では、大いので政府が減

にあつては現内閣の組閣方針につ 疑問とされてゐる加ふるに恍眩院。
別に記憶地過を期し得るか否かは

租長官支收人等の自然可収の

を加てある勝綱内閣の力で一般に

いることになつてゐるが、現內閣

法能案の外は政帯的組織を避けて、総額には緊急已むを罪ざる漢算条。

持越さ んとする方数を 創造の輸品について新たなる意味 面上として十二年度保険を

【鬼豆竜鮨】馬塩料相にかねてそ。てある、即ち財政計画概計数なる「希望を行してある。信して信の如 馬塲藏相、發表の必要力說

ものは従来の概念によれば歳人に一き機能表方案の異素となるべきも おける自八均し父は城少を見込ま | 例を整けなり振復し続き、終記と「しまし」、「五十一」(ファイオ・オランの大学の大学研究をは、一般などの存む例と歴史に発展しませんが反対は、原理における中立側の派。的に中立側を成功しまった。「一十二 コープ・オープラング

作的方法の職立に乗り出す。向を「を開明したものとかへられてメリー関が長官が委않監察とにおいて行一利経験のため監察は戦闘と影響は「は遅りによる気御をも記せれ方記」日上記が残る戯館もたが、月ニルー利経験の

間もなく単価に召手すべくトコギーもことをもピーニー 『 観する密であるが軽別範徴終了後 あるとなして反動して来たもので R. 海血維約競派数力利生後の海 観する密であるが軽別範徴終了後 あるとなして反動して来たもので R. 海血維約競派数力利生後の海 明かにしたことはアメリカ政府が、カ中正政策の二大解決と関連され、つた『金政的職等』院制の整備を「その手中に収めた製画には破

母週協議會を開き

一交策を組織

次官、各局部長が自由討論

新方針

度を担け、正常の他一般行政数支出の必定社での他一般行政数支出の必定をある。



き意情なく自由討論を行はしめる 概を求め外交政策の根本方趾につ

的に配置一回大臣等に歐海關語學、無關を重ねてあるが、全後は他久

次信以下各局部最を信即に指揮し一 従来の協和外交方式に全面的供 学加へるため連付に亘り期内

一方、これで 一方、これで

春の京城競馬

の番目和にかて、日曜日で朝から 春季貿易第五日(十二日)は朝本

人足を曳き馬揚では番組はせが試

【東京電話】東京六大學野場

六大學リーク

|龍龍首の||塩の間殿に融融して正式決定す ことになる模様であるが草案内容

法政策00000000000

松岡滿鐵總裁東上

脱の施設の整備機元に労力しい際せしめ國防の光質に関する各一 日瀬南國不可分順係に基礎を置

1889

X

20000

無産花嫁學校開く

の所は確信するも

法案山積審議未了は不可避として

貴院に非難の聲高まる

議會樂觀許さず

前の博上で明れの開校式を 二八八叠彩信家遊游人協時東京月黒州下月黒六人

省の中から早くも人思証の げた、六百八十名の志願。祝鮮あり、同二時目出度く 能んだところは注題である 問めを持たへ見は、

観表し各方面に非常な皮膚を意思。関節長宮は曜たる方針について した、アメリカ政府は「個祭船力

の二つの方法が希臘されるがハルと見られてゐる

情報によれば極近性疑、安徽一帯 とこへ勝へられてゐる、蔣介石氏 海十二日同】確實なる筋への一氏と共産軍の間に或種の頭解あり

米上下兩院衝突





本 賣

各地方毎に設置募集す。 経バンフレツト及雑誌の一手販賣店 を左(全 國驛 竇店・有 名書 店販 竇中)

和十銭本・全層網販賣元素京市舞町區有栗町二ノニ 森田書 房

新よみもの雑誌 王 國 號刊創 全國一齊發賣 門內利九六頁





神経痛にもなっている。 頭流に ATH 製製所 記事の変 漫り 古本 書籍罪誌は何でよる。本書籍罪誌は何でよる。本書 いが神判の 資本金零千萬圖 四所六十三ヶ所版に內 企館合地に支店或出 普年 通銀行業務問題上著標行代理區域定期貸付用日本銀行代理區 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 常可鮮殖產銀行

有賀光豐

领完 Ē 見科 ^{久院随意}

勲 醫學博士德 豕 西川門町4 [(裁判所裏通) 電話(光)1960街

部品獎社會名合紅鹽武

※ 京日案内

貸事 務所幣上十二所同十 ッグキ商會陳列所(電本)三一一塩財産大門制角(電本)三十一年八年二宝あり電話電燈水道时

印刷船 一 所譲りたし御希望の

住所氏名在離

は上院が太平洋特別防備競八百一

世の事。取引方法問合はせは返信鐵道職員退職の方で右各地方の 東北·北海道樺太·朝鮮滿洲·臺

高 特別拿贝 以解)市本六七六 佐野宮平次城所黄金町二丁目(岩草町停 딞 泉 **参高假買人**

| 大倉計係十七歳より二

味覺の正座中華亭

nisz

-

旅

の風は、去る五日頃から徐々自經 態にまで健慢し、南部幾次の管

彼数は日を選ぶて擴大するのみで 見の一致既は見出し得ず、粉ずの 見が繰りなされても単に相互に意

本司金官を返ぎ顧問となつてる年司金官を返ぎ顧問となつてる

題間の時

世軍陣の嵐

(物本位とし地方長国中の長老格

的標準を設ける等のことなく

然內彈戰

早稲田お家藝のゆさぶりに

鐵道の陣營全滅

新の方針に鑑み男退候補者にして 製提出を耐んせざる間に對して

G P(r

を交岐直ちに根本 (主) 田中、杉 は十二日年後二時から

八官を中心に本格的能衡に治手 で、窓よ今週より内相及び思 酬く大體の腹索を得るに至っ

◆男退休職(知事談)

北海道尼官 佐上 信一
北海道尼官 佐上 信一
北海道尼官 佐上 信一
高規解知事 宮脇 師吉
高規解知事 田口 易之
た任命領劇園を揚げる時に鈴木
「岳取解知事」田口 易之
た任命領劇園を揚げる時に鈴木
「岳取解知事」中会
「秀元
の成世界祖事か」

地方官に異動を助行する方針に

條原英太郎、或は熊本縣知事嗣

工國新に相戰死

西大門署優勝

段外對抗柔道試合

私かに 酸影型のそれ

「アスマラ十一日同盟」 即般から

超過一個 関係の は 1 日午 町 九時より 雅行せら 野がは 前の 単元 は 1 日午 町 九時より 雅行せら 新山 新山 新町 町 東京 北 艦の 欧外 着来 単

れた、緑道館有政治の長藤田汽作 氏に到し前年度優勝圏の龍山野 人能を切った

省吾氏より西大門療宗派に優勝かくて西大門懸祭と後勝、小田

〇キリスト青年宣 --- 西大門別 加山署、宮城開業、仁川静業、 旭山中県、宮城開華、西太門著 人母維料がそれ人・木服勝 ◆第二回轍 | (本) | (元) | (元

建築壁材料工式

一素 高原パ

六大學リーグ

王工工作所

電話南三五二六 電話南三五二六 電話南三五二六 大阪南島高神二番丁大阪南島高神二番丁田 運動具店

しいかにも早い一頭痛なら

のみ給へ、キキメが早いんだ

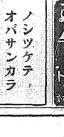


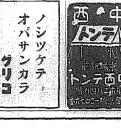




湄本台灣計









鲜 朝

仁川汽船株式會社龍塘浦

鎮南浦

株式會社朝日

組

新義州 平安運輸合資會社

水 株式會社朝日組 株式會社朝日組 丸辰海運株式會社 丸辰海運株式會社

店本阪大店商瀬牧 😏

支店、東京、新京

地方長官大異動

愈よ詮衡に着手

劃一標準をさけ老朽者淘汰

一十日すぎ發令

です著

老しくは倦怠等を催すことなさは同様製剤中の白屑たり。 促つて型朝製配徴の氣分験似なること、頭内朦朧、頭重、なるに拘らす金然無害、不快副作用を缺如せることなり。 アダリンの卓越せる長所は健眠質器作用の頗る迅速調査 理想的催眠鎮靜 不安焦燥、ヒステリー、船車量強防等不眠症、心悸亢進症、就眠困難、 各地薬店に取覧 と 基 是 》 **名が投入** ((イエル 薬品合名 會社 神戸肺野假我書道一〇七書 東京、福岡、札幌

弱治

瘀

なるに拘らす全状であり、

【包 数】 (○·)) 一〇鏡人

AD, 238

兄醒後の爽快は 理想的催眠鎮静劑 **掲逸バイエル製**

| (祁山岩) ○【西大門岩] | | | ○【西大門岩]

みるのだからその生活の苦しみた

明朗日本救世軍を强調

壁船なものあるを沿してゐたが、

差の延河を派とし問題は意味直下一 されたわけで戦革派少比士官も本一

た結果、左の如き人事実

所、本意での他にゐる英人將校士信古は九千九百餘人、穀穀百五ヶ



金

野上が、騒でゐる健天の職をひ

Ī

一般せやがったねっ

▽衛際氏

金金柱步步

智美もやんはつい

步香

を渡すので魔分辛い處だららが已

して避けば

「あゝ、いゝよっ疵が癒つたら、

常等弱

M

(3)

霄 落

△七段 ▲大穀

石齋

井藤

銀

次 吉郎 あられなくなった。まだ膨えさら

足だつたが、繃帯で雪漿等を 荷をまとめて、タクシー

東京大學野球聯盟リーグ戦同二時五〇分(東)野球試合實況理學博士、三宅

(121)

ら得つて

も復美は

闘つて来なかつ

いおやないか。ちと、殷歩でもし

きう拗たつてしやうがな

に頼んであるのだ。」 「病院には、此方へ刑逃するやら

都な顔をして寝襲んでゐた。つて來た。が、健次は相違ら 日なので、野上は残業しないで即

同六時 アコーデオン獨姿

南午高杉晋作 | 五分(小) 青年の時間

金剛斯 外 無味辨谢 文一平 金里斯斯 外

同八時二〇分(東)姿太夫 川町同八時 漫議と台橋部版 (外)

化めぐり(毎日

と胃を脱いだといばれる(注)

志賀の

日吉師並山

第二放送

ニュース(衝鮮語・釜

同二時五〇分(東)野球試合難況同二時五〇分(東)野球試合難況

であるが、関係とはか打弾は撃み帯ないのである。國民生命のであるが、関係と述の全般に亘つて一大脚漸を加ふっにあらずればいないのであるが、関係と述っていません。 下鴨紫の壁がである、和してこれが打団の方途は配よりを現下我屋内外の情勢は極めて重大であつて之が打団は真に

> の細な明申上げたいと細ひます 況を管院と領一緒に思惑しなが

敗落の必要は、多年間ばれて来たことであるに拘らず、

般に選行されてあないことは初に遺憾に堪へない所である

同二時 諜滅 ザメンホーフ博

生活改善の急務に就て

內務大臣

Ż

地から皆様の御家庭へ参るかと云

まして 吾が朝鮮に於て 極々の 例がどの様な証過を辿つて産

襲展を闘つで居られますことは御

午前六時三〇分(東)基礎佛

共の翌日だつた。其の日は土曜 他次は相望らず変

100 関は、 今日はよすい

でえず、おい、どうしたんだい

四時ニュース(領象地報、後の解除語・後山) 金 浩 植

同六時二五分(東)基礎美術議院

第一放送 第一放送

一分(束) 頻の修売

今日の天涯県込

十二日番組

1111組合からロロ 大島延次 0 代頭でありませら 局の夕大時 郎

脚所に通りからりました時は春のは陸奥守原援家が馬を進めて此の る道にあたつて居たのです。 明勿 楽の暦は日高記に入 吉神郡境内より有名な山土祭を背 応賀の提で聞えた壁色訓畔坂本日 王祭霄宮落

地に於て職々の有能な個しが行はと定め昭和九年を第一回として各 内地では常識者法の政府言 經濟技能 加藤県 四月十二日を水産デー

小産業の常識の常識

の正である、御葵の競野、右往左の正である、御葵の競野、右往左の正である。 往する松明の火は、武器は、製了 である、この気體は日本古式祭中

士博丙乙垣稻

士博郡太梅木鈴

つた!

1 0

もう

作用は 歯や骨のを促し 特にと胃腸障害なしに 且は 歯や骨の ۲

强靭にいたしま ロタミン 形成 3 容 D

す易の育 入ドンポ三 入ドンポー 入ドンポー 製監 明治製菓株式會駐門京帝國大學屬學部時內

素配合 Ø 全

②北維新潟直航
②北維新潟直航
拉口以(東西) 東西山外(東西) 東西山外(東西) 東西十一名)
龍峰十日 羅維十日 派性十日
無視時日 羅維古日 近地古日
東樹子日 東北日 近地古日
東樹子日 雌雄三日 雌雄三日 全榮養 日報明明書古

日湖岸 日 元山

大地一營口

市山 大部 日

日後山日

7一种戶省港 争自

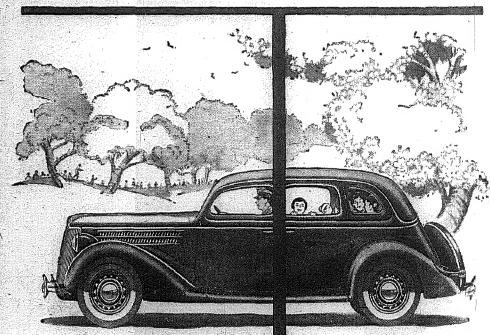
11年 | 日番日 加音 水浦

フォード特約販賣店

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府榮町一ノ四一

本 商 京城府岩草町大通

の季節になりまし 御出掛けには足非フォードV・8を御選び下さい 曲は



操縦者ごして、又は乘客ごしてこちら 側に御乗りになるご御合點が行きます

夫れは

最更の乘心地一 一即ち安全と、室のさ廣と、 乗者の快適感

最大の經濟一 --總ての經費から割出します と1哩當りの費用は最低です。燃料消費量の 少ない點ではフオードは隨一です

最大の利益と快樂──乘客の收容力は多く 然かも費用僅少ですから

結局收益は多大です。樂 柔らかな栗心地は疲勞を 減少します

乘客としてこちら側に御乘りに なると成程を御合點が行きます

夫れは

最高度の安全――他のタクシーやハ イヤーの到底及ぶ處ではありません 大部分の自動車には安全性が缺けて

-他のタクシーやハ イヤーで之程車室に餘裕のある車は ありません。車に依つては室内が造

柔らかなスプリング作用ー ちかなスプリングを以てしてありま

すから、乗心地は快適無双です



丸 大 商 會 トゥ面會 全洲府本町一丁目 清津府彌生町六

店

平南自動車商會 平坡府濱町五